

型	番	LT-Y18D-GB							
品	番	06-5569							
光	源	色	昼光色						
使	用	電	源	AC100V 50/60Hz					
定	格	消	費	電	力	18W			
全	光	束	2400lm						
エ	ネ	ル	ギ	ー	消	費	効	率	133.3lm/W
平	均	演	色	評	価	数	Ra82		
使	用	光	源	チップ型LED (交換不可)					
光	源	の	光	束	維	持	時	間	40000時間 (LED光源ユニット)※ 1
使	用	場	所	屋内用 (屋外使用禁止)					
外	形	寸	法	φ 300×高さ99mm (プラグは含まず)					
質	量	600 g							

※¹ 光源の光束維持時間とは、あらかじめ設定した条件下での平均値です。使用条件により異なる場合がありますので、ご注意ください。
照明器具の耐用年限とは異なります。
※製品改良のため、予告なく仕様変更する場合があります。
※LED素子には光色、明るさにバラツキがあるため、同じ形名の商品でも光色、明るさが異なることがあります。
※型番、品番は器具本体に貼ってあるラベルをご参照ください。
※防水仕様ではありませんので、屋外や湿気の多くなる場所（浴室など）ではご使用出来ません。



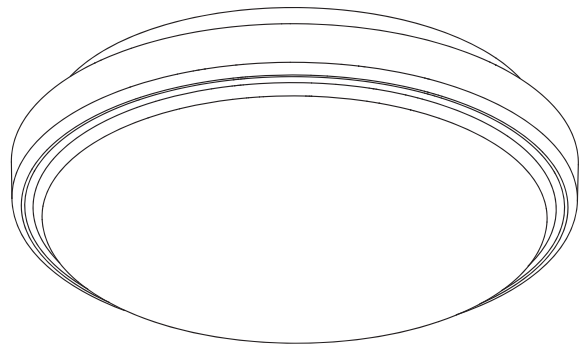
LED照明器具

LED

内玄関灯

保証書付

取扱説明書



LT-Y18D-GB

(品番：06-5569)

はじめに

安全上のご注意	2
使用上のご注意	3
各部の名称	4
器具を取り付ける前に	5
取り付け上のご注意	
取り付けできない天井	
適合する配線器具	
器具の取り付け方	6、7
準備	
1.天井の配線器具にアダプターユニットを取り付ける	
2.本体を取り付ける	
3.コネクターを接続する	
4.カバーを取り付ける	
器具の取り外し方	8
1.カバーを外す	
2.コネクターを外す	
3.本体を外す	
4.アダプターユニットを外す	
故障かなと思ったら	9
ご使用上に関するお知らせ	
愛情点検	
お手入れのしかた	9
無料修理規定	11
仕様	12
保証書	12

必要なとき

(キリトリ線)

保証書 (持込修理)

品名	LED内玄関灯			★お買い上げ日： 年 月 日	
型番	LT-Y18D-GB	品番	06-5569	保証期間 (お買い上げの日から)	LED器具の点灯装置については5年間 セードは1年間
お客様	ふりがな ★お名前 様				
	ふりがな ★ご住所 〒 ー 電話 ()				
修理メモ					
販売店	★住所 店名 電話 (印)				

(注) ★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。
24時間連続使用等 1 日20時間以上使用の場合、保証期間は半分になります。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
※この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
https://www.ohm-electric.co.jp

製品に関するお問い合わせは お客様相談室 へ	
●通話料無料 ●携帯・IP・公衆電話からは 0120-963-006 048-992-2735	
電話受付	平日 9：00～17：00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます
修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ	
電話受付	048-992-3970 平日 9：00～17：00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

お買い上げいただき、まことにありがとうございました。
施工の前・ご使用前には必ずこの取扱説明書を最後までお読みになり、正しく施工してください。
この取扱説明書（保証書付）は、いつでも見ることのできる所に保管してください。

工事店様へ この説明書は必ずお客様にお渡しください。

LEDシーリングライトの特徴

長寿命LED

光源の交換が不要で手間いらず だから、ローコスト!!

均一に発光

カバーに影がなく、均一に発光。

省エネ

蛍光管シーリングライトとの比較

低UV

紫外線が少ないので色褪せしにくく、虫も寄り付きにくい。

目にやさしい

チラツキが少なく目にやさしい。

安全上のご注意

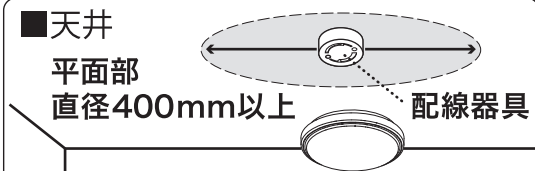
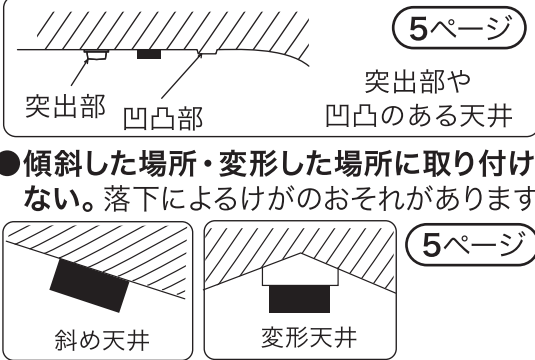
必ずお守りください。

製品および取扱説明書には、重要な内容の記載があります。それは、お使いになる方や他の方への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくためです。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みいただき、記載事項を必ずお守りください。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。(下記は図記号の一部です)

 警告 「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。	  してはいけない内容です。
 注意 「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。	 必ず実行していただく内容です。

 警告	
必ず守る ●必ず下図のような平面部の直径が400mm以上の天井に取り付ける。落下によるけがのおそれがあります。  ■天井 平面部 直径400mm以上 配線器具	分解禁止 ●器具を改造したり、部品交換したりしない。 火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。
禁止 ●凹凸のある場所に取り付けない。 落下によるけがのおそれがあります。 ●傾斜した場所・変形した場所に取り付け ない。落下によるけがのおそれがあります。 ●がたついたり、破損している配線器具 (ローゼット・引掛シーリング) には 取り付けない。 火災、感電、落下によるけがのおそれ があります。  突出部 凹凸部 突出部や凹凸のある天井 斜め天井 変形天井 配線だけのもの 破損しているもの 電源端子露出タイプ ガタつくもの	必ず守る ●本体の取り付けは、取扱説明書に従い 確実に 行なう。 ●布や紙など燃えやすいもので覆ったり、 かぶせたりしない。 火災の原因になります。 ●交流100ボルトで使用する。 過電圧を加えると過熱し、火災、感電の おそれがあります。 ●煙、臭いなど異常を感じたら、すぐに電 源を切る。 火災、感電のおそれがあります。 ●異常・故障時は直ちに使用を中止する。 速やかに電源を切り、お買い上げの販売 店へ点検・修理を依頼してください。 ●調光機能が付いた壁スイッチの場合は、 一般の入切用スイッチに交換する。 火災のおそれがあります。※スイッチの 交換には資格が必要です。販売店、工事 店に交換を依頼してください。 ●取り付け、取り外しやお手入れの際に は、必ず主電源を切る。 主電源を切らないと、感電の原因とな ることがあります。 ●本体のすき間に金属(ヘアピン・針金・ クリップなど)を差し込まない。 火災、感電の原因となります。

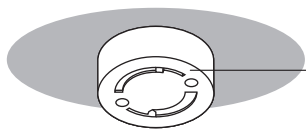
 注意	
禁止 ●本体が一部破損したまま使わない。 使用を中止し、修理を依頼してください。 ●温度が高くなるものを器具の下に置か ない。 器具の下にストーブ、コンロなどの発熱物 を置かないでください。火災、本体の変形、 落下のおそれがあります。 ●カバーをはずした状態で点灯している LEDを直視しない。 目に悪影響をおよぼすおそれがあります。 ●この器具は屋内(5℃～35℃)専用です。 屋外では使用しない。 屋外で使用すると、漏電し、感電・火災の 原因となることがあります。	必ず守る ●付属の梱包材は取り除いて本体を使用する。 取り忘れたまま使用すると、火災の原因に なることがあります。自治体のルールに従 い、廃棄する。 ●アダプターを天井の配線器具に確実に取 り付ける。必ず「カチッ」と音がするまで 回し取り付ける。 器具落下の原因となります。 ●本体を押し上げて取り付ける。 必ず「カチッ」と音がするまで本体を 天井に押し上げて取り付ける。 ●使用時にアダプター本体が100℃以上にな らないような器具、取り付け位置で使 用する。 強度が弱まる原因となります。また、火災 の原因になりますのでご注意ください。 ●取り付けする照明器具の質量は、5kg※ 以下のものを使用する。 器具落下の原因となります。 ※本製品の質量は約0.6kgです。 ●接続コードに張力が加わらないように使 用する。 器具落下の原因となります。 ●カバーは確実に取り付け。 ●アダプターを外すときは、ロックボタンを 押しながら反時計方向へ回す。 ロックボタンを押さずに回すと本体が破損 して器具落下の原因となります。 ●シンナー・ベンジンなどの揮発性のもの やアルカリ系洗剤などで本体を拭かない。 強度の低下、変色、変形、故障の原因にな ります。
接触禁止 ●点灯中や消灯直後は、本体が熱いので触 れない。 やけどのおそれがあります。	
水ぬれ禁止 ●浴室などの湿気の高い場所や屋外で使 用しない。 火災・感電の原因になることがあります。 ●本体を水洗いしない。 感電、故障の原因になります。	
必ず守る ●照明器具には耐用年限があり、設置して 8～10年経つと外観に異常が無くても 内部の劣化が進行するので、点検・交換 する。 点検せずに長期間使用し続けると、まれ に、発煙、発火、感電などに至るおそれ があります。(周囲温度が高い場合、点 灯時間が長い場合は、寿命が短くなりま す。) ※使用条件は周囲温度30℃、一日10時 間点灯、年間3000時間点灯。 (JIS C8105-1 解説による。)	

使用上のご注意

- ラジオやテレビなどの音響及び映像機器の近くでご使用の場合、雑音が入ることがあります。
- 天井の取り付け面の構造や材質により、取り付け面が変色等を起こす場合があります。

各部の名称

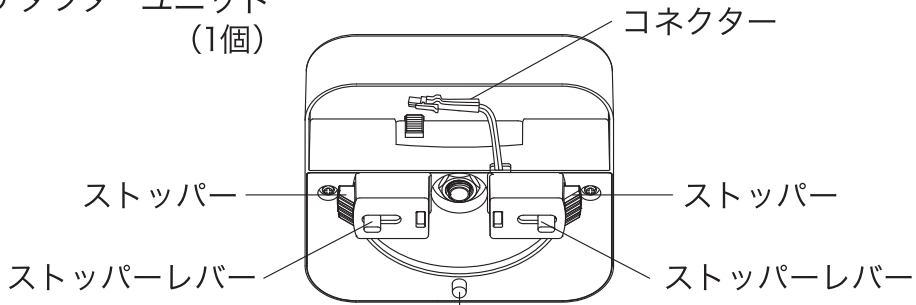
図は一部簡略化した部品図です。



配線器具
(付属していません)

本体取り付け用付属品

アダプターユニット
(1個)



目印ラベル
(拡大)

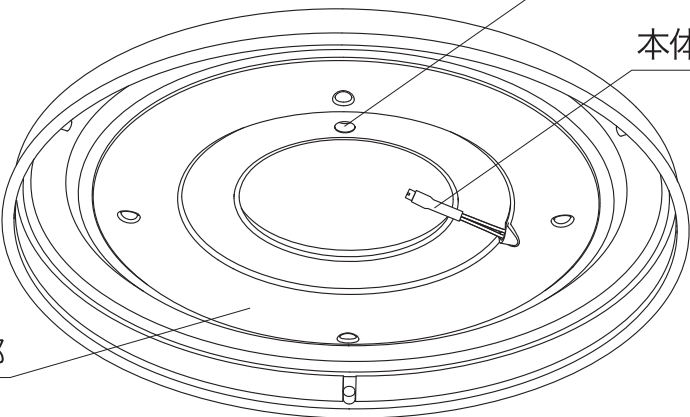


本体固定用ストッパー (目印ラベル貼付)

本体

固定用ホール

本体側コネクター

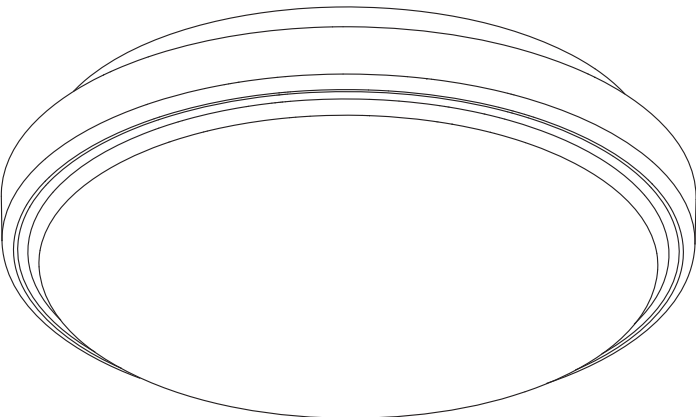


LED光源部

本体側
コネクター

アダプター側
コネクター

アダプター側コネクターと
本体側コネクターをしっかりと
接続してください。(7ページ)



カバー

器具を取り付ける前に

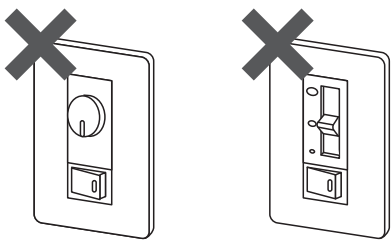
取り付け上のご注意



警告

■壁付調光器のある回路では使用しない。

本器具を取り付ける電源回路 (壁スイッチ等) に調光器が接続されている場合、ランプが正常に点灯しなかったり、器具が故障することがあり、使用できません。下図のような調光器が接続されている場合は必ず調光器を取り除いてください。

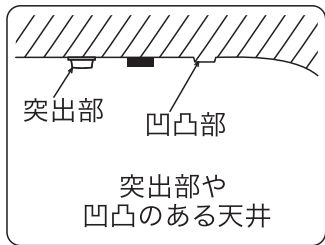


調光器付壁スイッチ代表例

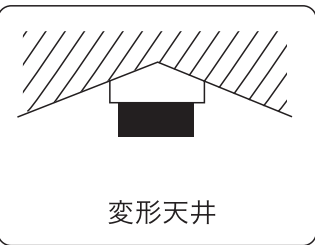
調光器の交換工事は
電気工事店に依頼
してください。
(交換には資格が必要です。)

取り付けできない天井

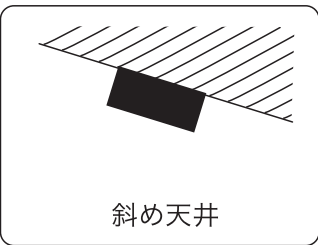
■下図の天井には取り付けできません。



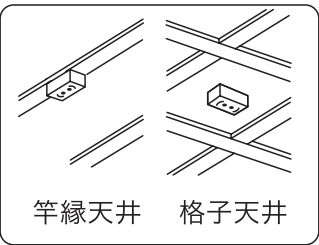
突出部や
凹凸のある天井



変形天井



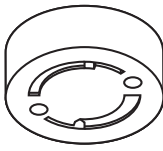
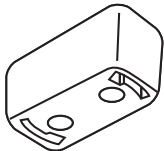
斜め天井



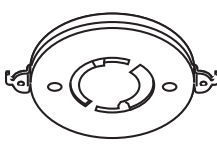
竿縁天井 格子天井

適合する配線器具

角型、丸型引掛シーリング



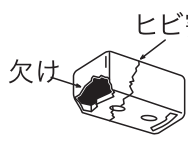
埋込ローゼット



■下図の場合は、電気工事店か販売店にご相談ください。



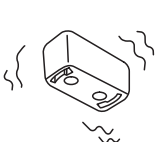
配線だけのもの



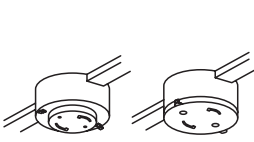
破損しているもの



電源端子露出タイプ



ガタつくもの



ケースウェイに取り付いている

電気工事は電気工事士の資格が必要です。工事は必ず電気工事店に依頼してください。

引掛シーリングはベニヤ板などの薄い天井材には取り付けないでください。器具が落下するおそれがあります。

器具の取り付け方

準備

天井に付いている配線器具を確認する

天井に右図のような器具が取り付けられている場合、取り付けができます。これ以外の特殊な引掛シーリングには取り付けできません。販売店（工事店）にご相談ください。※配線器具にガタつきや破損が無いことを確認してください。

- ①カバーを反時計回りに回してカバーを外す。
- ②アダプターユニットの両ストッパーレバーを中央方向にスライドさせて、本体から外す。

1

天井の配線器具にアダプターユニットを取り付ける

アダプターの引掛金具を引掛シーリングに挿入し矢印方向に「カチッ」と音がするまで時計回りに回してください。取り付け後、赤いボタンを押さずに反時計回りに回して、はずれないことを確認してください。

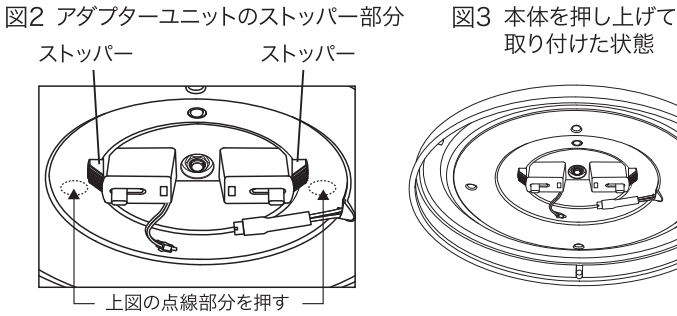
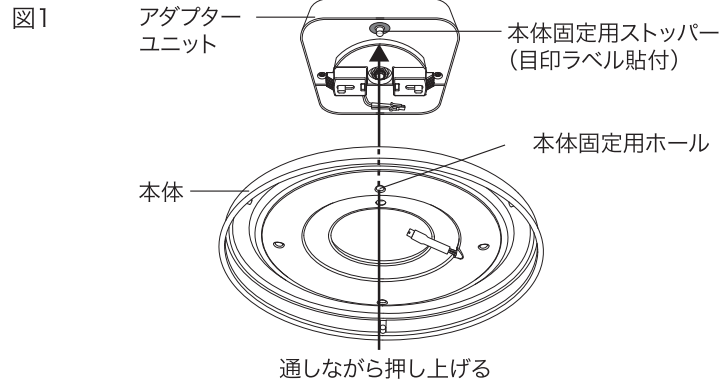
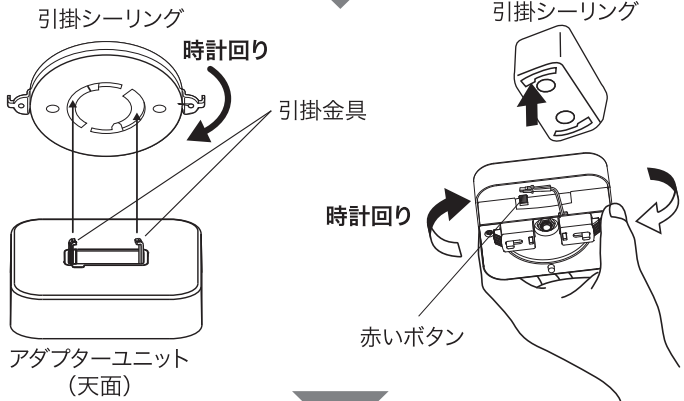
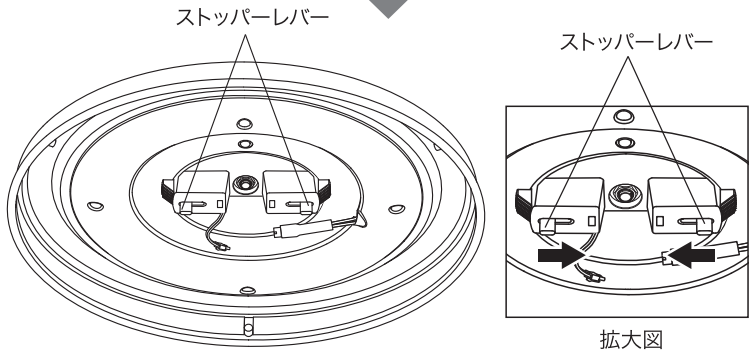
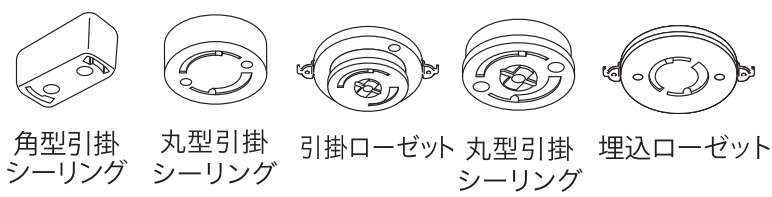
2

本体を取り付ける

本体側の本体固定用ホールに、アダプターユニット側の本体固定用ストッパー（目印ラベル貼付）を通して（図1参照）、アダプターユニットとアダプターユニット側コードを本体中央の丸穴より通して、本体を天井に押し上げます（図2、3参照）。アダプターユニットの左右ストッパー部分が押されて収縮したのち、「カチッ」と音がして元どおりに戻ると取り付け完了です。※本体を天井に押し上げる際は、図2に示した丸い点線部分を指で押すと、本体がたわまず、しっかり押し上げることができます。

安全のため、壁スイッチなどの主電源を切り、器具の取り付けを行ってください。

天井の配線器具

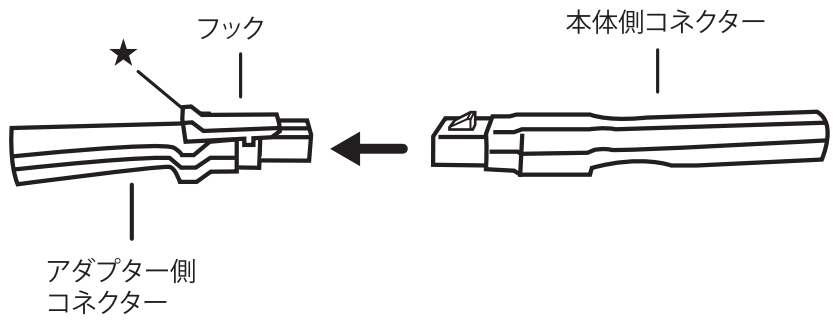


注意 ●落下のおそれあり
取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

3

コネクターを接続する

アダプター側コネクターを本体側コネクターに確実に差し込んでください。★の部分を押さずに、アダプター側コネクターを引っ張り抜けないことを確認してください。



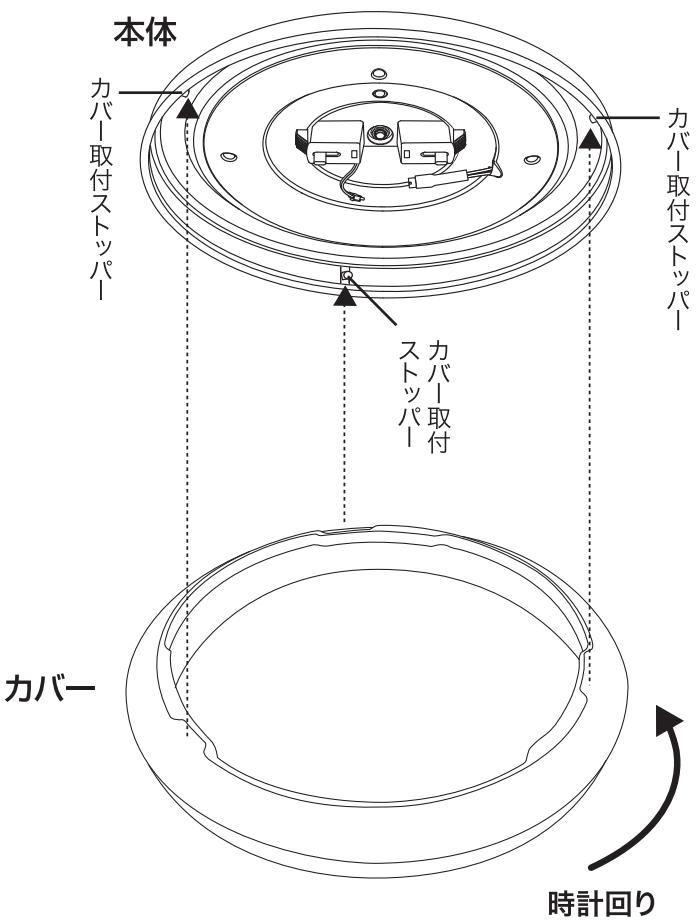
注意
●コネクターは確実に差し込む。
接触不良による発熱や焼損の原因となります。
●接続コードに張力が加わらないように使用する。
器具落下の原因となります。

4

カバーを取り付ける

カバーのくぼみ(3カ所)を、本体のカバー取付ストッパー(3カ所)に合わせてはめ込み(右図参照)、時計回りに止まるまで回します。

※カバーを取り付けた際、カバーが傾いていたり、すき間が均でない場合は、取り付けが不完全ですので、カバーを反時計回りに回していったん外して、再度カバーを取り付けてください。



器具の取り外し方

安全のため、壁スイッチなどの主電源を切り、器具の取り付けを行なってください。

1

カバーを外す

カバーを反時計回りに回し、外してください。



禁止

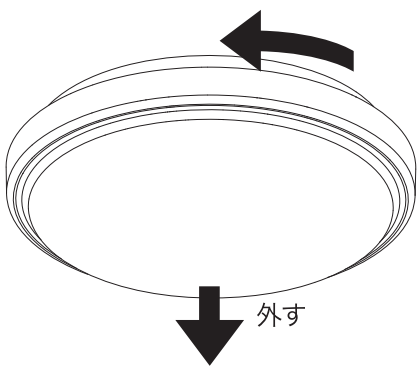
枠を持って回さない。本体が落下してけがの原因となるおそれがあります。



注意

カバーは無理にはずさないでください。カバーの割れ、落下によるけがの原因となります。

反時計回りに回す

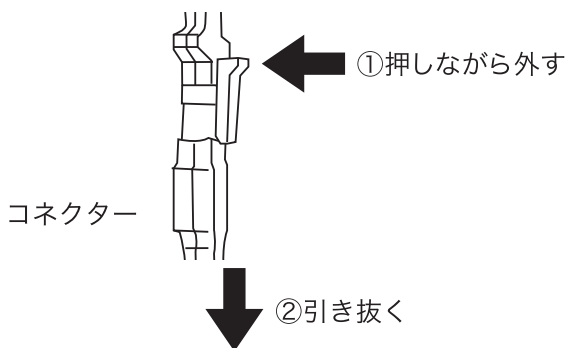


外す

2

コネクターを外す

右図のようにコネクターの矢印部分を押しながらコネクターを引き抜いてください。

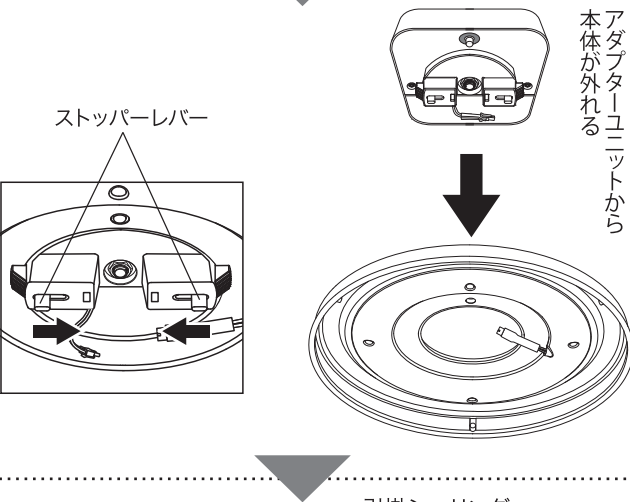


3

本体を外す

アダプターユニットの両ストッパーレバーを中央方向にスライドさせると、ストッパーが収納され本体が外れます。(右図参照)

※本体は重量がありますので、本体を落下させないように慎重に外してください。



4

アダプターユニットを外す

アダプターの赤いボタンを押しながら反時計回りに回してください



注意

赤いボタンを押さずに回すと引掛シーリングが破損します。

故障かなと思ったら

故障の状態	主な原因と対処
「ジー」という音が聞こえる	本製品を調光使用中の際に、まれに「ジー」という音が聞こえる場合があります。これは調光時の電流の変化に応じて発生する音であり、異常ではありません。
音が聞こえる	点灯中や消灯直後、カバー等のプラスチックの伸縮により、「ピシ・ピシ」「ポッ・ポッ」という摩擦音が生じることがあります。

ご使用上に関するお知らせ

この症状は故障ではありません。

- 点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮によるきしみが照明器具から発生することがあります。
- 非常に短い停電があると、点灯状態が変わる場合があります。
- LED素子にはバラツキがあるため、同一型番・品番でも製品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- LED光源は交換できません。
- 機器の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。

愛情点検

長年ご使用の場合は商品の自主点検をおすすめします。



こんな症状はありませんか？

- スイッチを入れても、ときどき点灯しないことがある。
- 本体や配線部品を動かすと点滅する。
- こげくさい臭いがする。
- 点灯時に漏電ブレーカーが動作することがある。
- 器具取り付け部に変形、ガタツキ、ゆるみなどがある。

ご使用中止

このような症状がある場合には、故障や事故の防止のため、ただちに電源を切り、ご使用を中止し、販売店もしくは弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。

お手入れのしかた

安全のため、壁スイッチなどの主電源を切り、本体が冷めてから行ってください。

- 明るく安全に使用していただくため、定期的(おおむね6ヶ月に1回程度)に清掃してください。
 - 汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤や石けん水に浸した布を固く絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
- ※化学ぞうきんを使ってお手入れする際は、使用する化学ぞうきんの注意書に従ってください。製品によっては、プラスチックに悪影響を及ぼす場合があります。
- シンナー、ベンジンなど揮発性のもので拭いたり、殺虫剤などをかけたりしないでください。変色・変形、または破損の原因になります。

[illegible]

This image shows a full page of white paper with horizontal dotted lines, typical of primary school writing paper. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

無料修理規定

- 11